

## 調布市議会改革検討代表者会議第1回会議の概要

### 1 日時・場所

平成23年10月4日（火）午後2時～3時06分 於：全員協議会室

### 2 会議次第

#### (1) 調布市議会改革検討代表者会議について

代表者会議の設置目的、委員、議事運営方法等設置要綱に沿って説明し、委員の了承を求めた。

#### (2) 座長あいさつ（伊藤座長）

要旨：改選後初の第2回定例会幹事長会議で議会改革検討の提案がされ、全会一致で合意され設置したこと。平成12年の地方分権一括法施行以来、議会の権能も拡充。その任にたえる議会の役割を今一度考える必要もある。二元代表制の下、議会は合議制機関として、市長は独任制機関として、それぞれの特性を生かし、市民の意思を市政に反映させるため、競い合い、協力し合いながら、調布市としての最良の意思決定を導く使命がある。市長等執行機関とは緊張関係を保ち、独立・対等の立場において、政策決定・事務執行の監視・評価・政策立案・政策提言を行う機関となることが望ましい。こうした責務を果たすためにも、不断の改革・改善が必要である。

#### (3) 今後の進め方等について

次回10月17日（月）は、本日提出された検討案の提案説明を行う。

11月17日（木）第3回代表者会議では、提案を受けた内容を精査した正副座長案を提示し、検討に入る。

#### (4) 議会改革検討案の提出

座長へ各会派の検討案提出時に、議会改革に対する考え方や理念、提出に当たっての所信を5分以内で一言発言した。

##### ■ 林委員（自由民主党創政会）

4つの柱（①開かれた議会②議会の活性化③効率的な議会運営④公正な運営）の視点から検討案を提出

##### ■ 井上委員（民主・社民の会）

①本会議質疑について②議会運営・位置づけ③傍聴者への対応④その他（資料の簡素化・議場の開放等）の視点から検討案提出

##### ■ 小林委員（公明党）

地域主権確立のために、わかりやすく開かれた議会を目指し、議会基本条例・通年議会・一問一答・議会ふれあいミーティング・監視機能・政策提言強化等

■ 雨宮委員（日本共産党）

前回の議会改革協議会のまとめを参考にしつつ、今日の状態に相応しい事項を検討していきたい。（議会基本条例・議案審議等の改善・開かれた議会とするための公開方法等・議会事務局の体制強化等）

■ 高橋委員（みんなの党調布）

市議会自体の活性化・開かれた議会を柱に、わかりやすい本会議・市民に関心を持ってもらえる議会・より広く丁寧な広報展開・議会活動の効率化・ペーパーレス化等

■ 大河委員（元気派市民の会）

自治法改正では、「自分たちのまちは自分たちで決める」という住民自治に向けた議会改革の方向性も示された。「市民のための市議会」としてより機能するための改革が求められている。二元代表制の一方を担う機関として、行政チェック、政策提言、議会への市民参加、議会基本条例制定が必須、少数会派尊重等

■ ドゥマンジュ委員（生活者ネットワーク）

議会基本条例の制定・情報公開を進め、市民に開かれた議会・議員研修会・勉強会強化・少数会派尊重等

(5) 第2回代表者会議の進め方について

10月17日（月）午前10時から開催

本日提出した各会派の検討案の提案説明を、1委員20分以内にまとめて説明することを確認した。

(6) その他

- ① 第2回代表者会議における提案説明は、時間制限があるので時間が目に見える表示等検討してほしい。
- ② 本日提出された検討案の公開は、第2回代表者会議で公開していく。

※ 資料1：調布市議会改革検討代表者会議設置要綱（写）